



基本目標③  
自然環境

「自然と共生・共存を図り、多様な生きものとのふれあえるまち」を目指します。

生物多様性を保全し、多様な生きものとのふれあいを大切にする、人と自然が共生するまちを目指します。

第1節 生物多様性の保全

1 現状と課題

(1) 現状

生物多様性とは

生物多様性とは、「生きものたちの豊かな個性とつながりのこと」といわれています（図2-3-1）。

生物多様性には①生態系、②種、③遺伝子の3つのレベルがあるとされています。

①<生態系の多様性>森、川、里地里山などには、それぞれの環境にあった生きものが生息・生育しており、その環境と生きもの、そしてそれらのつながりのことを生態系といいます。「生態系の多様性」とは、どれだけ多くの生態系があるかということです。

②<種の多様性>例えば、長良川周辺には、魚類をはじめ、鳥類、昆虫類、植物など多様な種が生息・生育しています。「種の多様性」とは、そこに暮らす生きものの種類がどれくらい豊富であるかということです。

③<遺伝子の多様性>同じ種の中でも、持っている遺伝子情報は、少しずつ異なっています。「遺伝子の多様性」とは、同じ種の中でもそれぞれの生きものが持つ遺伝子の違い、すなわち、生きものの個性の豊かさがどれくらいあるかということです。

人の暮らしに欠かせない水や食料、木材、繊維、医薬品などは、多様な生きものと、それによって形づくられた環境からの恵みによって支えられています。また、これらの恵みは、地域に根付いた文化や芸術、自然とともに生きてきた知恵や伝統など豊かな文化の根源になっています。つまり、生物多様性を守るということは、生きものと人の暮らしの良好な関係の維持に努め、次世代へつなぐことです。

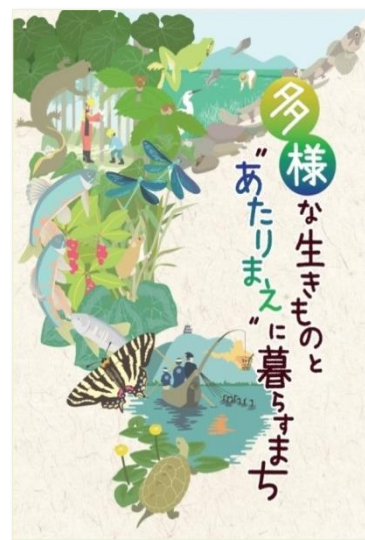


図2-3-1 生物多様性のイメージ（岐阜市生物多様性プランから）

世界の動向と国の取り組み

- 2010（平成22）年10月に名古屋市で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」では、「人々が生物多様性の価値と行動を認識する」など生物多様性の損失を止めるための20の個別目標である「愛知目標」を含む「生物多様性戦略計画2011-2020」が採択されました。

- ・2012（平成24）年、国では、愛知目標達成に向けたロードマップとして、「生物多様性国家戦略2012-2020」を閣議決定し、2020年までに重点的に取り組むべき施策の大きな方向性として次の「5つの基本戦略」を示しました。

#### 【5つの基本戦略】

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を見直し・再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する
- 5 科学的基盤を強化し、政策に結びつける

また、生物多様性の保全と持続可能な利用を実現するため、約700の具体的施策を推進しています。

#### 本市の取り組み

- ・2003（平成15）年3月、「岐阜市自然環境の保全に関する条例」を制定し、自然と共生するまちづくりを推進することを目的として掲げ、「貴重野生動植物種」や「自然環境保全地区」の指定などについて規定しました（表2-3-1）。

表2-3-1 岐阜市自然環境の保全に関する条例の概要

#### 目的（第1条）

- ・市民にとって貴重な財産である本市の自然環境を守り育てるとともに、後世に引き継ぐため、自然環境保全及び自然環境の創造に関する市、市民及び事業者の役割を明確にし、かつ、それを果たすことにより、自然と共生するまちづくりを推進することを目的とする。

#### 用語（第2条）

- ・貴重野生動植物種…本市に生息又は生育する野生の動植物（卵、種子等を含む。）のうち、生育又は生息数が著しく少なく、又は著しく減少しつつある種で規則で定めるもの
- ・自然環境保全地区…貴重野生動植物種が生息若しくは生育し、又は生物の多様性が保たれ、その保全を図る必要がある地区として、市長が指定したもの

#### 自然環境保全地区（第7条）

- ・自然環境の保全を図るため必要があると認めるときは、次に掲げる区分により自然環境保全地区を指定することができる。
  - (1) 特別保全地区…貴重野生動植物種が生息又は生育している地域のうち、当該貴重野生動植物種の保護のため、当該地域にある自然環境の保全が特に必要となる地区
  - (2) 共生地区…生物の多様性が比較的保たれている地域のうち、生活環境との調和に配慮し、当該生物の多様性を保つため、当該地域にある自然環境の保全が必要となる地区

#### 貴重野生動植物種（第8条）

- ・貴重野生動植物種を定めるときは、必要に応じて環境審議会の意見を聴くものとする。
- ・貴重野生動植物種の保護を図るため、その生息及び生育の状況を定期的に調査しなければならない。

#### 捕獲等の禁止（第9条）

- ・貴重野生動植物種の生きている個体を捕獲、採取、殺傷又は損傷しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

## コラム 貴重野生動植物種

岐阜市自然環境基礎調査、環境省のレッドリスト、県のレッドデータブックなどを参考に、岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づき、下記 3 種を貴重野生動植物種として指定しています。指定した 3 種は、生きている個体を捕獲、採取、殺傷又は損傷する場合、市長の許可が必要です。

### 種名（上位分類群科名）

レッドデータブックカテゴリー 環境省／岐阜県／岐阜市

### 内容

#### ヒメコウホネ（離弁花類スイレン科）

絶滅危惧Ⅱ類(VU)／絶滅危惧Ⅰ類／絶滅危惧Ⅰ類

沈水葉と浮葉を持つ多年草で、5～10月頃に黄色い花が水面から突き出て咲きます。湧水を水源に持つ丘陵山間部の池沼や農業用水路などに生育します。

本種の生育環境である丘陵地の池沼や水路などは、人間の生産活動の活発な場所でもあり、改変や改修などにより生育地が減少しています。



#### カスミサンショウウオ（サンショウウオ目サンショウウオ科）

絶滅危惧Ⅱ類(VU)／絶滅危惧Ⅰ類／絶滅危惧Ⅰ類

全長 10cm 程度の小型のサンショウウオで、体は褐色で黒褐色斑が密にあり、尾の上下の縁に黄条があることが多いのが特徴です。成体は低山や丘陵地の落葉広葉樹林などに生息し、山間の水田脇の水溜りや湿地などの止水水域において産卵します。

カスミサンショウウオの生息に適した環境が減少しているため、生息域及び生息数が減少しています。また、本市の個体群は西日本に生息するカスミサンショウウオの分布の境界にあたり、学術上貴重なものです。



#### ホトケドジョウ（コイ目ドジョウ科）

絶滅危惧ⅠB類(EN)／準絶滅危惧／準絶滅危惧

大型の個体では、全長 8cm を超え、体型は円筒形で、4対 8本の髭があります。体色は地域差や個体差がありますが、茶褐色又は赤褐色で体側には黒点が散在しています。湧水を水源に持つ細流や用排水路、池の砂礫底又は泥底に生息し、底生の小動物を捕食します。

水田の圃場整備、遊水池の埋め立て、水質汚濁などにより生息環境が悪化し、生息域及び生息数が減少しています。



- 本市の自然環境の現状を把握する一環として、2014（平成 26）年 3 月に、5 か年をかけて実施した「岐阜市自然環境基礎調査」の結果を「岐阜市の自然情報～岐阜市自然環境基礎調査～」として公表しました。
- 2015（平成 27）年 3 月、その調査結果に基づき、「岐阜市の注目すべき生きものたち 岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」として、市内で絶滅が危惧される生きものと、市内で生息・生育する外来種の状況を公表しました。



## コラム ヒメコウホネ特別保全地区（自然環境保全地区）

生物多様性が高く、重要な里地里山である達目洞には、貴重野生動植物種に指定されているヒメコウホネが自生しており、その自生地は岐阜市自然環境の保全に関する条例により自然環境保全地区（特別保全地区）に指定されています。

達目洞では、市民団体「達目洞自然の会」による保全活動が定期的に行われています。岐阜市はこの活動を支援し、協働で保全に取り組んでいます



- 2016（平成28）年3月、生物多様性の恩恵でもある貴重な地域資源を持続的に活用するため、岐阜市生物多様性プランを策定しました。岐阜市生物多様性プランの計画期間は、2016（平成28）年度から2025年度までの10年間であり、目指すべき本市の生物多様性の姿として、「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」を示しています。2017（平成29）年3月には、具体的な実施計画として「アクションプラン2017-2019」を策定しました。
- 生物多様性の保全、人の暮らしと生きものとの関係など、生物多様性に関連する様々なテーマのもと、生物多様性について市民と一緒に考えるために、研究者などによる基調講演、中学生・高校生・大学生の活動発表、会場全体で考えるトークセッションなどを行う「生物多様性シンポジウム」を年2回程度、開催しています（写真2-3-1）。
- 主に小中学生を対象に、身近な河川の水生生物を採集して調べ、その中の指標生物によって水質判定などをする「水生生物調査（カワゲラウオッチング）」を実施しています（写真2-3-2）。
- 河川の治水対策、利水対策に加え、自然環境と調和の取れた河川自身が持つ自然の力を活かした「多自然川づくり」を進めています。
- 貴重野生動植物種の保全を図るため、定期的な生息・生育調査などを実施しています（写真2-3-3）。

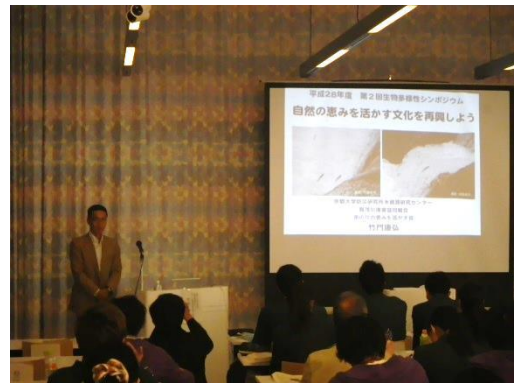


写真 2-3-1 生物多様性シンポジウム



写真 2-3-2 水生生物調査



写真 2-3-3 貴重野生動植物種  
生息・生育状況実態調査

(2) これまでの取り組みの成果

- 現地調査と各種資料整理を通して、市内に約5,400種もの多様な生きものが、生息・生育していることを確認しました（図2-3-2）。
- 約5,400種の生きもののうち465種が、絶滅が危惧される状況であることが判明したため、レッドリストに掲載するとともに、285種の外来種が確認されたため、ブルーリストに掲載しました。これらは、本市の生物多様性の保全のための貴重なデータベースとして活用していきます（図2-3-5及び表2-3-2）。
- 岐阜市まるごと環境フェアで実施したアンケート調査の結果、生物多様性という言葉の認知度は、2011（平成24）年度には21.8%であったものが、2016（平成28）年度には43.8%となるなど増加傾向を示しています。
- 市政モニターやみんなの森ぎふメディアコスモス来館者等を対象に実施した環境に関する意識調査では、ほとんどの方が生物多様性の保全に取り組むことは重要な課題であると考えていることが分かりました。



図 2-3-2 岐阜市の自然情報と岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015

表 2-3-2 市内で生息・生育記録のある生物種数及びレッドリスト・ブルーリスト掲載種数

分類群	種数	レッドリスト							ブルーリスト			
		絶滅	野生絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	情報不足	合計	侵入ランク			合計
									A	B	C	
植物	1,541	1		72	100	101	35	309	14	56	130	200
動物	3,840	1	1	29	32	64	29	156	33	25	27	85
哺乳類	35			2		8		10	4	1		5
鳥類	238			8	4	10		22	2		1	3
爬虫類	17					1	5	6	1		1	2
両生類	16			1	2	2	6	11	1			1
魚類	67		1	7	7	17	4	36	8	4	3	15
昆虫類	3,358	1		3	8	8	5	25	6	15	19	40
貝類	101			8	9	16	9	42	10	5	3	18
甲殻類	8				2	2		4	1			1
合計	5,381※	2	1	101	132	165	64	465	47	81	157	285

※自然環境基礎調査では5,366種を確認しましたが、その後、新たに確認した種を加えています。

区分	基本的な考え方	
レッドリスト	絶滅	市内では、すでに絶滅したと考えられる種
	野生絶滅	市内において、飼育・栽培下でのみ存続している種
	絶滅危惧Ⅰ類	市内において、絶滅の危機に瀕している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
	絶滅危惧Ⅱ類	市内において、絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
	準絶滅危惧	市内において、存続基盤が脆弱な種。現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
	情報不足	市内において、評価するだけの情報が不足している種
ブルーリスト	侵入ランクA	市内に広範囲に分布・定着しているもの
	侵入ランクB	市内への分布は局所的であるもの
	侵入ランクC	市内への侵入は初期段階もしくは未定着のもの



### (3) 今後の課題

#### 定性的な課題

- ・市民に対して、本来の生物多様性の意味を周知する必要があります。
- ・環境に関する意識調査では、その場所にはもともと生息していなかった生物を放流するような事業に関して、約4分の3の方が良いことだと考えており、生物多様性に対する誤った認識があることが分かりました。生きものの無秩序な放流が生物多様性の損失につながることを周知する必要があります。
- ・国、県及び市の関係部署と連携して、生物多様性を保全する必要があります。
- ・生物多様性に配慮した土木・建設工事、産業などを推進する必要があります。

#### 定量的な課題

- ・2016（平成28）年度における調査では、生物多様性という言葉の認知度は増加しているものの、まだ市民の半数以上の方が意味を知らない状況であり、市民の理解は、まだ十分に進んでいないと言えます。
- ・「自然環境保全活動団体」の増加・維持に努めるだけでなく、構成員の高齢化や新規加入者の減少が懸念されるため、自然環境保全活動団体の活動を発展させる必要があります（写真2-3-4）。



写真 2-3-4 達目洞での保全活動

#### コラム 外来種問題とは

外来種とは「元々そこにはいなかったのに、その場所以外から人間によって持ち込まれた生きもの」のことです。同じ国内であっても、その場所以外から持ち込まれた生きものは外来種となります。外来種のうち、生息・生育範囲や数を管理することが困難で、生態系や人々の暮らしに悪影響をもたらす外来種は「侵略的外来種」と呼ばれ、問題になります。

外来種を持ち込むことで起こる問題には、在来種を食べてしまったり、エサやすみかを奪ったりして生態系を破壊する、在来種やヒトに感染する病原菌や寄生虫を持ち込む、農作物を食べてしまうなど、様々なものがあります。

しかし、外来種は必ずしも悪者ではありません。外来種は人間に連れてこられたから、そこで生きているのに、迷惑がられ、時には駆除されているのです。これ以上外来種を増やさないためにも、元々いた場所から生きものを移動することは良くないことだという意識を持つことが重要です。

#### ＜岐阜市内に生息・生育する外来種の例＞



#### ＜アライグマ＞

北米から主にペットとして移入。凶暴で飼育は困難。生態系や農作物などに被害。



#### ＜アレチウリ＞

北米から移入。旺盛な繁殖力で在来植物の生育を阻害する。

## 2 今後の主な対応策

- 岐阜市生物多様性プランでは、目指すべき将来の岐阜市の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、その姿を実現するために「3つの基本方針」と「8つの取組」を推進することとしています（図2-3-3）。
- 岐阜市生物多様性プランの実施計画であるアクションプラン2017-2019では、これら「8つの取組」につながる「8つの重点目標」、重点目標を達成するために必要な「9つの個別目標」を設定しています（図2-3-4）。
- 個別目標の進捗状況を踏まえて重点目標ごとに点検・評価を実施します。更に「8つの取組」の進捗状況としてとりまとめ等を実施後、アクションプラン2017-2019全体の達成状況を公表します。
  - 生物多様性への理解を進めます
    - 「生物多様性シンポジウム」「生物多様性キッズセミナー」「水生生物調査」「出前講座」などを積極的に実施し、生物多様性の認知度の向上を図ります。
  - 生物多様性の保全と再生に取り組みます
    - 生物多様性を保全する上で重要な地区となる「ホットスポット」や「保全対象種」を選定します。
    - 今後、生物多様性に被害を及ぼす可能性のある外来種を選定し、被害を拡大させないようにする「外来種対応指針」を策定します。
    - 地域住民をはじめとする多様な主体が協力して、身近にある自然環境の保全・復元を目指す「小さな自然再生」を推進します。

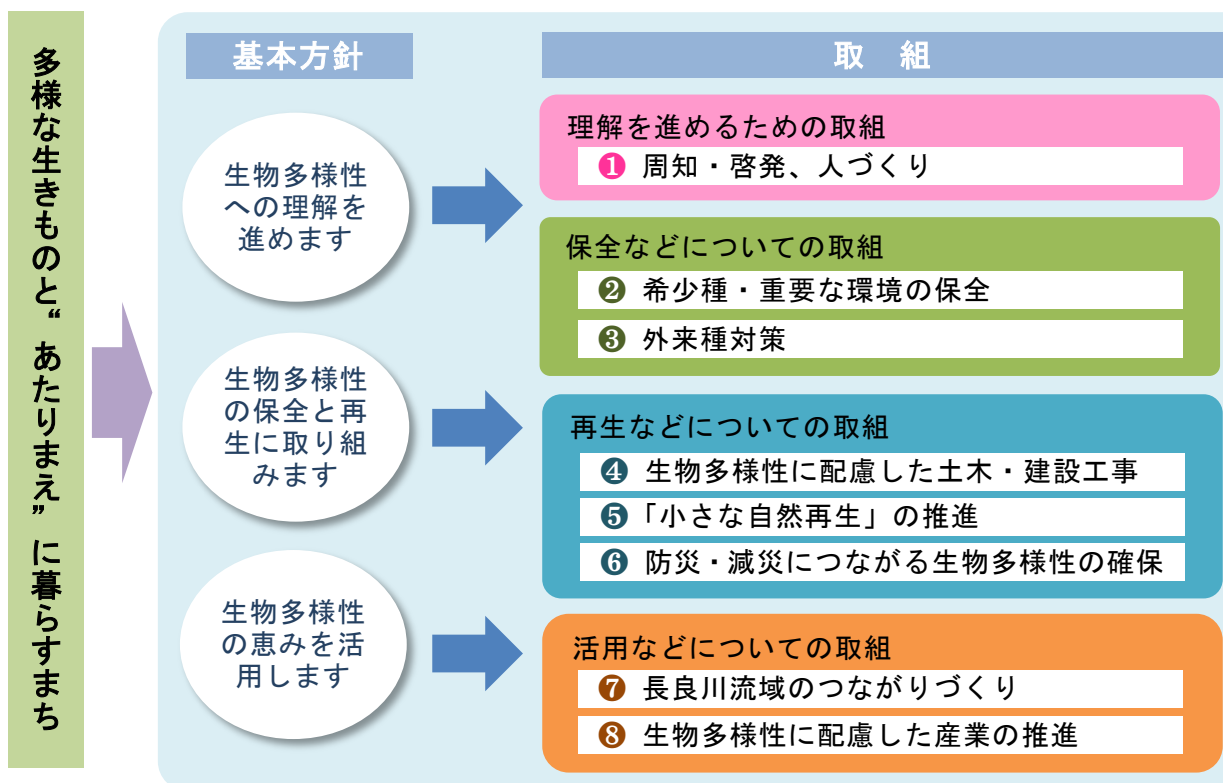


図2-3-3 岐阜市生物多様性プランの体系

●生物多様性の恵みを活用します

長良川流域のつながりづくりとして、長良川の上流域から下流域までの自治体、企業などで構成される長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動実施を増やします。

- 2020年度までに「アクションプラン 2020-2022」を策定します。
- 多自然川づくりに努めるなど、生物多様性に配慮した土木・建設工事を実施します。

### 3 指標と目標値

指標名	現況値 〔2016 (平成28)年度〕	目標値 (2022年度)	指標の見方
①生物多様性の認知度	40.1%	50%	環境に関するアンケート調査による認知度
②生物多様性シンポジウムの開催回数	2回/年度	維持	生物多様性シンポジウムの開催回数
③自然環境保全活動団体数	11団体	増加	岐阜市自然環境の保全に関する条例第21条による承認団体数
④多自然川づくりにより整備された河川の延長	3,234m	3,550m	生きものの良好な生息・生育環境に配慮して整備を行った河川の延長

重点目標	個別目標
A 市民への周知・啓発	A1 生物多様性の認知度の向上
B 行政内への周知・啓発	B1 行政内部における生物多様性に対する理解の向上
C 保全対象種、ホットスポットの選定	C1 保全対象種の選定
D 予防に重点を置いた外来種対応指針の策定	C2 ホットスポットの選定
E 生物多様性配慮のための行政・研究者・市民の連携強化	D1 外来種対応指針の策定
F 保全対象種生息地・ホットスポット地域における「小さな自然再生」の推進	E1 行政・研究者・市民の協議機会の向上
G 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動	F1 「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上
H 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発	G1 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上
	H1 生物多様性に関連した産業の推奨

図 2-3-4 岐阜市生物多様性プラン アクションプラン 2017-2019 の構成